

① 南沢巳代治 著

『わすれた算数・数学の勉強』

(パワー社)

本書の著者は、「小学校時代に学んだ算数の問題を解くことで、大人としての思考力を十分に磨くことができる。」と述べています。一見無関係と思われる算数と思考力との間には、実は密接な関係があり、答を導きだす時の過程で、どのような筋道を立てて、その結果に至ったのかを特に重要視することで、物事を論理的に考える力を養うことができるのです。割り算・かけ算・分数の練習問題を解きながら必ず「あ！そうか」と思う瞬間に出会える一冊です。

410.7||Min (N.K.)

③ ジュリエット・ハーバット 監修

『世界チーズ大図鑑』

(柴田書店)

チーズの起源は紀元前2800年前に遡ります。古代の人が、動物の胃袋でできた袋に入れられたまま放置されたミルクが酸味を帯び、固体と液体に分離したものをみつけ、哺乳動物の胃から抽出されるレンネットと呼ばれる酵素物質が、乳を凝固させることを発見したのです。

本書は、チーズの誕生から、国別によるチーズの種類と製造過程と産地、味や重量と形状、どの動物から原料となるミルクが採取されるか、またお薦めの美味しい食べ方に到るまで、たくさんの方々の写真を使ってわかりやすく解説しています。

この本を読めばチーズのみならず、各国の風土や食文化、経済史も学ぶことができます。

648.18||Seka (S.S.)



② アンドルー・F・スミス 著、小巻靖子 訳

『ハンバーガーの歴史』

(ブルース・インターアクションズ)

日本でもすっかりお馴染みになったハンバーガー。本学周辺にも3店舗が営業しているのは、皆さんご存知の通りでしょう。

話はそのハンバーガーの起源から始まり、それにまつわる様々なトピックスを扱っています。興味深いのはレシピが添えられていて、昔のレシピと現代のレシピの二種類に分けられているという点です。

本書を読むと、いつものハンバーガーも少し違った味わいになるかも知れませんよ。

383.853 ||Smi (T.F.)

④ 渡辺利雄 著

『講義アメリカ文学史』

(研究社)

本書は、アメリカの文学者の中からアラン・ポーやメルヴィルなど23人を選び出し、それぞれの時代的背景、社会状況、略伝と共に、代表的な作品の一部を抜粋して解説したものです。文学研究に伝記的な事実は不可欠だという著者の考えに基づいて、伝記的な情報に重点が置かれ、人間中心の文学史という方針が強く感じられます。

植民地時代のウィリアム・ブラッドフォードとジョン・ウィンズロップから現代に到るまでの、アメリカ文学の全体像が把握しやすく編集されており、引用された英語の原文の朗読は、付録のCDで聴くことができます。

930.29 ||Wat (F.O.)